

8-4-8 協調領域検討WG

1. WG 設置主旨

東京大学「i-Construction システム学寄付講座」に設置された「協調領域検討会」において、設計段階における協調領域の検討を主導することを目的として、令和 5 年 6 月、統括技術委員会の下に設置された WG である。

2. 主な活動の記録

当 WG は「設計 WG」の主導を主な役割としつつ、「維持管理 WG」や「プロセス間連携 WG」等の他の検討プロセスを対象とした WG へも人員を派遣しながら、建設業界全体の検討に貢献した。これらの活動では、測量、地質調査、施工、国土交通省等、建設業界を構成する様々な業界団体とも連携しながら、既存の業界間の役割分担の改善も踏まえた協調領域の社会実装に向けた検討を行った。また、国土交通省が事業監理の高度化を目的に立ち上げた「事業監理データ連携基盤検討会」にも参加した。設計 WG で検討してきた設計成果を含む事業情報の管理方法に関連することから、本省担当者とも協議を行いながら対応を行った。

「設計 WG」では、検討を具体的に進めるために、設計が対象とする 4 つの工種を対象とした SWG を設置したが、各工種で共有する課題に対しては、分野横断的な PT を編成して、集中的に検討を進めた。測量-設計 PT、地質調査-設計 PT では、現在の技術レベルを考慮した新たなワークフローについて PT の成果を元に本省への提言を行った。

(1) WG の開催（計 10 回）

当 WG は、当協会以外の産官学からも参加する協調領域検討会の「設計 WG」と同時開催という形式をとって、合計 10 回開催した。また、これらの WG の進捗に合わせて、別途 SWG を開催した。

- a) 第 1 回 WG 会議（4 月 24 日）
- b) 第 2 回 WG 会議（6 月 26 日）
- c) 第 3 回 WG 会議（7 月 24 日）
- d) 第 4 回 WG 会議（8 月 21 日）
- e) 第 5 回 WG 会議（10 月 2 日）

- f) 第 6 回 WG 会議（10 月 30 日）
- g) 第 7 回 WG 会議（11 月 20 日）
- h) 第 8 回 WG 会議（12 月 24 日）
- i) 第 9 回 WG 会議（1 月 29 日）
- j) 第 10 回 WG 会議（2 月 26 日）

(2) 東京大学「協調領域検討会」へ参加

「協調領域検討会」の全体会議に参加し、検討の進捗内容を報告した。

- a) 令和 7 年度第 1 回（5 月 13 日）
- b) 令和 7 年度第 2 回（9 月 5 日）
- c) 令和 7 年度第 3 回（1 月 23 日）

(3) 第 2 回「協調領域セミナー」の主催

協調領域検討会の概要と設計 WG の検討内容について当協会の会員企業に周知する目的で、会員企業向けのセミナーを主催した。

- ・日時：令和 7 年 4 月 23 日

(4) 東京大学「第 5 回協調領域シンポジウム」への参加

東大主催の協調領域検討会の全体報告会のなかで、設計 WG の検討内容について報告した。

- ・日時：令和 8 年 3 月 17 日

(5) その他の対外活動

- ・土木学会年次学術講演会（共通セッション「データ連携とプロセス改革」(第 3 回)の主催)

3. 次年度の活動について

継続的に SWG、PT の体制で検討を進めるが、一部の PT では本省への提言やプロトタイプの共有基盤を構築する目的を達したことから終了し、新たなテーマを定めた上で、協調領域の社会実装に向けた検討を継続する。

- ・WG：毎月 1 回程度で計 10 回
- ・SWG 及び PT：適宜開催
- ・協調領域セミナー：第 4 回（10 月）
- ・協調領域シンポジウム：第 6 回（3 月）
- ・対外活動：土木学会全国大会（9 月）、他

（協調領域検討 WG 長 藤田 玲）